

『ことばあそび』

誕生日時、一二月一日、一一時一分

綺麗に「一」が並ぶ中、よくよく見れば「二」が一つ

どんな性格かと問われれば、「孤独主義の楽道家」

だけどその実、寂しがり屋の孤独主義

人柄を表す単語は知らず、教えてくれる者はおらず

精神的に病んでいる女性に好かれやすいが、元気になるとすぐ振られる

皮肉な洒落を建前に、己の本質を探してみる

幸も不幸も笑い話

運も不運もお伽話

一期一会の恐ろしさ

偶然・自然の残酷さ

愛は語れば軽くなり、語らぬ愛は伝わらず

詩人を気取った嘘吐きは、たった一言の絶対を探す

けれどやがて見つけた言葉さえ、未来を透かせばあやふやで

嘘吐きにさえなり損ねた臆病者は、慰めの言い訳ばかり上手くなる

ああ、そうかと、唐突に悟る

弱った心に気に入られるのは、己の弱さに慣れているからだ

弱さを乗り越えた人々に去られるのは、己が弱いままだからだと

：何を今さら。そんなこと、最初から、はじめから

そうしてまた改めて、最初から、はじめから

要するに、全ては所詮、言葉遊び

どうしようもなく切なくて、どうしようもなく虚しくて

でも、どうしようもなく愛しくて

この世で一番に簡単で、この世で一番に贅沢な

言葉を使った終わらぬ「遊び」